



「大寒」

—大寒を超えれば、春はもうそこです—

校長 千葉 貴樹

毎日、寒い日が続きます。

皆様もご存じの通り、今の時期は「大寒」です。

「大きい」と「寒い」の漢字で表す通り、とても寒い時期です。

昔から、季節の移り変わりを知るために、1年を約15日ごとに24に分けられた24節気のうちの一つであり、最後が「大寒」です。

その年によって「大寒」の期間は変わり、2022年は令和4年の「大寒」は、1月20日から2月3日まで、やはり「大寒」はもっとも寒い時期のことを言います。

「大寒」の時期は、さらに「初候」、「次候」、「末候」の3つに分けられ、1月30日頃からは、「末候」に当たります。

「末候」の時期は「鶏始乳」と言われます。

「乳」には産むという意味もあり、鶏は本来、冬には産卵しませんが、春が近づくと、鶏が鳥屋（とや）に入って卵を産み始めました。つまり、鶏が新しい命を産む時期である「末候」で七十二候が締めくくられます。

「大寒」の前は、「小寒」（しょうかん）と言い、「大寒」の次は「立春」と言います。

「大寒」の最終日の2月3日が豆まきでおなじみの節分で、次の日の2月4日が「立春」と言います。

「大寒」は最も寒い時期ではありますが、「末候」の時期でもあることを考えると、寒さの底をつけば今度は少しずつ春に向かっていくことを意味しています。

「大寒」の時期、つまり、長い冬がもうじき終わり、次の学年になる4月に向けて少しずつ暖かくなり春がやってくる・・・という昔からの思いが伝わってきます。

各ご家庭におかれましても、今はとても寒くて厳しい時期ですが、やがて訪れてくる春を思って今の時期を力強く乗り越え、やがて訪れる温かくて明るい春に向けて、元気に過ごしてほしいと思っています。

ご家庭からのきめ細やで迅速な連絡に感謝しています！

—変異株の猛威が本校にも—

「親族が濃厚接触者に特定されそうなので大事をとってわが子を休ませます」「幼稚園で仲の良い友達が感染し、休園になりました。わが子を休ませた方がいいですか」等、早め早めに学校にご連絡をいただいております。

お子さんやご家族が検査で陽性となった、又は保健所から濃厚接触者に特定された場合には、インフルエンザに罹患したときと同じように、出席停止となりますが、上記のような微妙なケースの場合は、様々な状況によって対応が異なるので、保護者の方と学校で相談しながら連携を密に図って対応しています。

今後も引き続き、ご心配な点や不安な点がありましたら、何なりと学校にご相談ください。案件が激増しておりますので、電話に出た教職員が対応させていただき、状況によって副校長に取り継ぐことになっておりますので、よろしく願いいたします。

2月 行事予定

*1()内は、学年を示します。 *2授業参観の可否については、後日お知らせします。

1日(火) 校外学習(5)	14日(月) クラブ活動
2日(水) さいわい塾	15日(火) 中学校体験(6)※感染拡大防止のため中止
3日(木) 集会 音楽鑑賞教室(1, 2, 3)	16日(水) 幸フェスタ、大縄週間始、大縄週間始 はっぴいスマイルくらぶ
4日(金) 落語キャラバン(4) 書写展終	17日(木) オリ・パラ講座(4)
7日(月) 委員会活動、食育指導(3)	18日(金) 校外学習(6)
8日(火) 安全指導、副籍交流(4) 新1年生保護者会	21日(月) クラブ活動(3年生見学)
9日(水) さいわい塾	22日(火) 大縄週間終、アートキャラバン始
10日(木) 避難訓練	24日(木) 大縄記録会
	25日(金) 授業参観・保護者会(5, 6) アートキャラバン授業(6)
	28日(月) クラブ活動
3月当初の主な予定	1日(火) 授業参観・保護者会(3, 4) 2日(水) さいわい塾 3日(木) 6年生を送る会 4日(金) 授業参観・保護者会(1, 2)

2月の生活目標「感じのよい言葉づかいをしよう」

誰に対しても「ふわふわ言葉」を使って話すように心がけていきましょう。さらに、場所や相手、状況を考えて話すように意識できると、相手も自分も良い気持ちで過ごすことができます。

☆道徳地区公開講座

道徳教育推進委員 壬生 広美

先日のお手紙でもお知らせしましたが、「まん延防止等重点措置」が適用されたことを受けて、道徳地区公開講座は、延期とさせていただきます。実施日時につきましては、感染状況を踏まえ、実施の可否も含めて検討してまいります。2月下旬までにお知らせしますので、ご了承のほどよろしくお願い致します。

☆薬物乱用防止教室

6年学年主任 小泉 友

5、6年生は毎年「薬物乱用防止教室」を行っています。薬剤師の先生に来ていただき、5年生は薬の服用の仕方、6年生は薬物(大麻や危険ドラッグなど)について学習します。6年生は、大麻などの薬物が体に及ぼす害について学びました。また、たばこの害についても知ることができました。「もし、誘われたらどう断るか?」ということを最後に考えました。仲の良い友達から誘われても、毅然とした態度でNOを言えることが大切です。今回の学習を心にとめて、「悪いことは絶対にダメ」といえる大人になってほしいです。

☆幸フェスタ

特別活動委員会 秋山 晴彦

今年度の幸フェスタは、今までにない形式で実施予定です。昨年度は中止となり、その前は全校でいろいろなお店を開いて楽しんでいました。しかし、コロナウイルスの影響により、全校で一斉に実施することはできなくなったので、ペア学級で楽しむことになりました。6年と3年、5年と1年、4年と2年のペアになり、半分ずつの子ども同士で交流します。内容については、40分間で相手の学年を楽しませることをこれから考えてもらいます。一体どんなことを考えてくれるのか、今から楽しみです!今までのやり方と違うことを残念がるのではなく、新しい試みを楽しんでくれることを期待しています。

なお、残念ながら、感染症拡大防止の観点から、保護者の参観はできませんので、ご了承ください。

校外学習(4年)

4年生は、1月27日(木)に、大型バス2台で校外学習へ出かけました。羽村市郷土資料館・羽村取水堰では、社会科で学んだ玉川上水のことについて実物を目の当たりにし、学びが深まった様子です。あきる野ふるさと工房では、東京都指定文化財に指定されている、軍道紙の紙すきを体験しました。子どもたちは、珍しい原材料から、国語科で学んだ丈夫で風合いのある和紙が仕上がる過程を、じっくり体験することができました。作品として完成した和紙が届くのが楽しみです。

